

(平成 25 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：鶏肉の食中毒細菌汚染を生産段階で抑制する技術開発

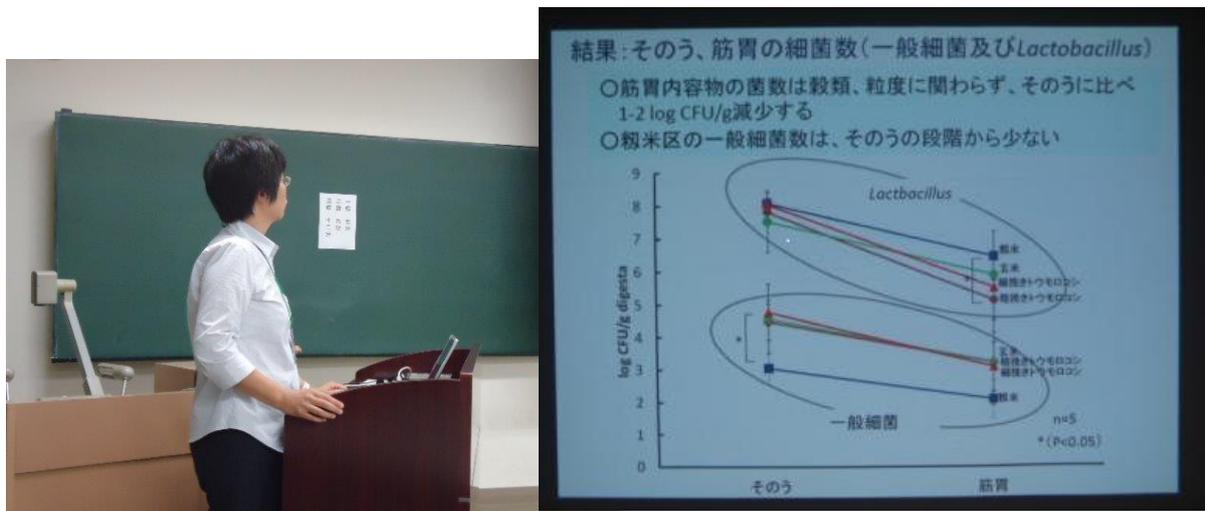
研究

研究成果を日本家禽学会で発表

9月8日、日本家禽学会秋季大会が新潟県で開催され、当センターから「粃米給与によるブロイラーの上部消化管の形態及び理化学的、細菌学的変化」について発表を行いました。

鶏への飼料米（粃米）利用が広がる中、粃米給与に関する研究報告も増加しています。当センターは粃という物理性に着目し、粃米給与によるカンピロバクター感染抑制効果について春季大会で報告し、今回はその感染抑制メカニズム解明の手がかりとなる研究成果を報告しました。

家禽の生産性に関する報告が大半を占める中、視点の異なる当センターの報告に、参加者から高い関心が示されました。



日本家禽学会秋季大会（新潟県新潟市）